



愛する彼女を
オークの妻にされた話

愛する彼女を オークの妻にされた話



今回のヒロイン
リナ（魔法使い）



私たちは敗北した

早く逃げるんだ...

うそ...
いや...

いうことをキケ

そしたら
このオトコを
タすけてやる

...

はい...

ライアンを置いて自分ひとり
逃げるなんてできなかった

ライアンと離れ離れになり
オークの集落へ来てからは
痛みと涙の日々だった。

いたい！

カッ
オークが入ってる！
なんでこんなことに！

助けて！ライアン！
誰か助けて！夢だつて言つてよ！

出すぞ

私はただ助けが来ることを
祈ることしかできなかった。

うううっ…
いやいやいやいや！
うううわあああ！

ドブッ

助けを諦めたのは
ここにきて一か月後の事だった。

助けを諦めてから多くの事が変わった。
彼も優しく接してくれるようになった。

こっちもキモチ
よくしてやる

狩り帰りで汗と尿が混ざってすごい臭い♥
臭うだけであそこがジンジンしちゃう♥

どうしたんだろう
嫌だったのに今では自分から
受け入れるくらい好きになってる♥

ほら おねだりしろ

いっす

人間の小さい肉壺だけど
気持ちよくなれるように
いっぱい解しておきました♥

ほしい
いっぱい入れてほしい♥

くちゅ♥

だめ♥
気持ちよすぎて
喘ぐ事しかできない……!

パン♥パン♥

ライアンの赤ちゃんを
育てる大事な場所なのに!

ちんぽにめちやくちやにされてる!

堕ちちゃう!

ああ!だめ♥
オーク赤ちゃんの場所にされちゃった♥

でもわたし
今すごく幸せ……♥

私はオークの妻として生きることを決めた。
それから数か月後……

あれから身体はオークの妻としてふさわしい姿になった。
胸は大きく垂れ、あそこは赤く膨らんで厭らしい身体へ変化した。

私の体が変わるたびに彼は喜び朝まで私を求めてくれた。
お腹の中には彼とのオークの赤ちゃんがいる。

もうライアンの隣には戻れないけど
私は幸せだよ。

